



京葉動力労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
043(222)7207 番
93.9.26 No. 3863

「政治改革」の名の下の翼賛政治体制攻撃粉碎! 「新たな一〇万人首切り」攻撃粉碎!

第20回定期大会始まる

動労千葉第二〇回定期大会が、九月二五日、千葉県長南町・笠森保養センターにおいて開会された。本定期大会は、「新たな一〇万人首切り攻撃」の突破口をなす「二・一ダイ改」攻撃との対決、「政治改革」の名の下の「新たな翼賛政治体制」との対決を、労働運動の真価をかけた今秋闘争への決起を軸に、歴史的意義を持つものとして勝ちとられている。

定期大会は、議長団に宮内代議員(佐倉)、繁沢代議員(幕張)を選出し、冒頭、本部中野委員長のあいさつ(要旨別掲)を受け、続いて本定期大会に御出席をいただいた、県労連センター・広田事

本部・中野委員長あいさつ要旨

本第二〇回定期大会を歴史的かつ重要な闘いと位置づけ、今日の山積する諸課題と対決していく。

「政治改革」攻撃粉碎の闘いへ!

三八年間の自民党単独支配の崩壊―細川連立政権の誕生は何を意味しているのか? どう労組は対応していくのか? 小選挙区制の本質は、一九五六年鳩山内閣によって出された、「自主憲法を持つには、社会党を撲滅するために必要」なものであり、憲法改悪、翼賛体制をつくることに最大の目的がある。連立内閣の中心軸は、「日本改造計画」を標榜する新生党・小沢であり、細川政権がそれを推進する水先案内人として、一定のクリ

務局長、労住協・粕谷理事長、三里塚芝山連合空港反対同盟・北原事務局長、部落解放同盟全国連・石川副委員長、動労千葉弁護団・葉山弁護士、スタンダードバキューム石油自主労組・中西副委員長、東京一般MC型鋼センター分会、動労連帯高崎・和田山委員長、動労千葉顧問・中江船橋市議、動労千葉OB会・白石副会長、そして動労千葉家族会・佐藤会長より来賓あいさつを受けた。

大会はその後、経過報告(一般経過報告(会計監査報告)から、一九九三年度運動方針案・予算案までを提起し、一日目の議事を終了した。

インサ新鮮さを売り物にしながら、国民の幻想を集めていることを見極め、これを打倒しなければならぬ。

焦点は社会党を解体していくことにある。最大の焦点である小選挙区制、「政治改革」攻撃粉碎へ本定期大会を期して、闘いに立ちあがらなくてはならない。

解雇撤回闘争の正念場来る!

JRをめぐる闘い、解雇撤回―清算事業団闘争が、この年内から来春にかけて極めて重要な時期にきている。中労委は年内にも一定の決着をつける旨を提起してきた。問題は、国労を中心とした闘う主体の側が、一〇〇〇名に近い事業団労働者の不撓不屈の闘いと、

闘いの基調と課題―その四つの柱

- 一、清算事業団闘争勝利、全ての被解雇者の解雇撤回・原職奪還のために、組織の総力をあげて起ちあがる。
- 二、「JR体制」の危機をついて、新たな一〇万人首切り攻撃粉碎、六〇才まで働ける労働条件の確立、運転保安、「JR体制」打倒に向けた闘いに全力をあげて決起する。
- 三、「保守二党制」と憲法改悪に向けて、小選挙区制の導入が強行されようとしている情勢と真正面から対決し、反戦政治闘争を労働運動の第一義的な課題として位置づける。
- 四、支配階級の意思のもとに労働者を取り込んでいく立場を鮮明にする「連合」に抗し、全国労組交流センターの本格的発展に向けた取り組みを全力で押し進める。

JR本体の闘いを結合させて闘いを進めていくという観点での指導が極めて不十分であるということだ。動労千葉は、千葉の枠を大きく突破して、全国において連帯した闘いを展開しなければならない。

そして当面する重要な闘いである「二・一ダイ改」阻止闘争は、現行よりも一〇〇Hの「時短」をキッカケにした勤務制度の改悪に他ならない。「時短」を実施しても合理化要員の方が多いということにも明らかのように、今や分・民当時の「去るも地獄、残るも地獄」に逐着している。JRでは毎年百名近い現職死亡―過労死が出ている上に、これがかかってくるのだ。問題の本質は、JR総連がJR当局と結託して、水先案内人となつていという関係を打倒し

新たな闘いへ向けた結成一五周年

来年、三月三〇日、動労千葉は結成一五周年を迎える。この間、動労千葉を支えてこられたあらゆる人達と、大々的にイベントを企画し、その付託に応え、一皮むけて、動労千葉の力を振り絞り、新たな闘いの宣言としなければならない。

反合・連転保安確立、反戦・反核を担う労働運動を!